

社会貢献預金(笑顔プラス)の寄付先団体の活動をご紹介します。

近畿ろうきんは、社会貢献預金(笑顔プラス)の取組みをととして、被災地支援や障がい者支援、子育て支援、女性・マイノリティ支援、環境保全、国際協力などの活動を行う、NPO・市民団体を応援しています。

認定NPO法人 いくの学園(大阪地区)
《女性・マイノリティ支援》

理事長 雪田 樹理



いくの学園の前身は府立の婦人保護施設でしたが、この30年近くは民間シェルターとして活動しています。シェルターとは、DVや虐待など、親密な相手の暴力から避難し、安全に新しい住まいを探し、転居する準備のための一時的な施設です。数週間から数か月の入所期間中に、入所者に支援員が同行し、さまざまな機関(行政、司法、医療、不動産会社など)における相談や手続きを一緒にします。

支援の根拠法の一つである「困難な問題を抱える女性への支援に関する法律」(女性支援新法)は2024年に施行されました。日々の直接支援活動と併せて、新法が他の福祉分野や市民生活の場面で広く知られ、活用されるための啓発にも取り組んでいます。男女平等の実現、人権尊重と擁護、女性福祉の増進など、いくの学園のミッションとも合致する新法の理念は、今までになかった女性福祉に関する大事な法



律です。性別を問わず、身近な人が暴力に困っていたら諦めずに相談してほしいです。

春日山原始林を未来へつなぐ会(奈良地区)
《環境保全》

会長 河原 宏吉



私たちは、世界遺産古都奈良の文化財の一つであり、国の特別天然記念物でもある春日山原始林を次世代へ継承していくことを目的に組織された市民団体です。

現在、春日山では、奈良のシンボルでもあるシカの食害等により、森を構成するシイ・カシなどの次世代が育たず、このままでは森が維持できなくなる恐れがあります。私たちは管理主体である奈良県の進める保全事業に協力するとともに、春日山原始林の価値や魅力、そして課題について多くの方に知っていただくため、さまざまな啓発活動に取り組んでいます。

2025年は春日山原始林の天然記念物指定100周年を記念して、シンポジウムを開催しました。春日山原始林のこれまでの振り返るとともに、春日山原始林の生き物たちの写真を撮影されている自然写真家の佐藤和斗さんのトークイベント



とパネルディスカッションを行い、200名以上の方にご参加いただきました。



社会貢献預金(笑顔プラス)は、「預金者の寄付負担(金利引下げ分の利息相当額)」と「ろうきんの拠出金」の合計額を地域のNPO・市民団体に寄付を行う定期預金です。
 ※商品の詳細は、当金庫ホームページをご覧ください。また店頭の商品説明書をご用意しています。

近畿ろうきんFacebookページ
<https://www.facebook.com/kinkirokin/>



近畿ろうきんFacebookページでは、社会貢献預金(笑顔プラス)の寄付先団体の活動状況などを随時公開しています。